

心がかよう集団づくり

名城大学 曾山和彦

2010.6.11(金沢)

はじめに 「学級経営」とは

◆学級担任が学習指導と生徒指導の両面にわたり、その教育機能を十分に発揮できるように、学級における様々な条件整備を行うこと

学級担任制(小)であれ、教科担任制(中、高)であれ、学級担任は必ず**学級経営**に携わることになる。

学級担任が行う条件整備とは

1. 学級目標づくり
2. **学級づくり**
3. 教室環境づくり
4. 保護者との関係づくり
5. 地域との関係づくり
6. 学級事務



学級・集団づくりの基礎・基本

◆**ルールづくり**

レポートとの違いは？

◆**ふれあい(リレーション)づくり**

プラグマティズムで行こう！

腕の見せどころ

- ・使えるものは何でも使え
- ・役に立つ知識こそ真の知識

私にとって使い勝手がよいSGE & SST

ラポールとリレーションの違い

ラポール
プラス同士の感情交流

リレーション
プラス、マイナス共に含む感情交流

付き合いはじめの男女の関係



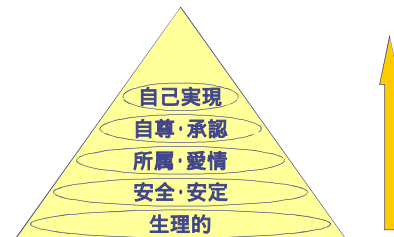
結婚生活の長い夫婦の関係



学級・集団づくりを支える理論

～マズローの欲求階層説～

◆第一欲求(生理的)が満たされると、第二欲求(安全・安定)が生じ、これも充足されると第三欲求へ進む。上位欲求は下位欲求がたとえ部分的にせよ満たされて初めて発生する



「居心地のよい」学級の条件

- ◆ 居心地のよい場所(集団)には、**ルールとふれあい(リレーション)**がある
- ◆ **ルールとふれあい**のある集団は、**教育力のある集団**でもある

「秋田に学べ」

居心地のよい学級づくり

腕の見せどころ

ルール促進にはSST、ふれあい促進にはSGEを

秋田の学力状態が良好なのは？

- ◆ 「秋田わか杉っ子 学びの10か条」から抜粋

- ・決まり、ルールは守ってあたりまえ
- ・いつも気をつけている言葉遣い

子どもたちがそう言っている

エンカウンターによる人づくり

～鹿嶋先生の実践(NHKプロフェッショナル)～



学校・学級の温かな人間関係づくり

- ◆ つながりが、人を癒す
- ◆ つながりが、人を育てる

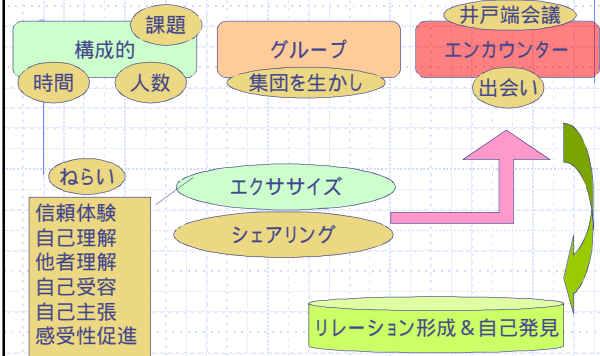


「人は 人の中で 人になる」

「人」、「かかわる時間」、「かかわる空間」を用意する教育技法がエンカウンター

9

構成的グループ・エンカウンター(SGE)

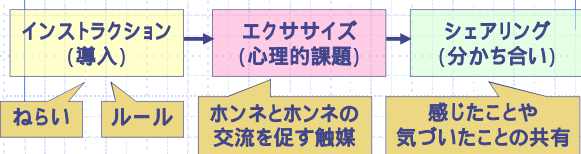


「自己発見とは？」～ジョハリの窓から

フィードバック

自己開示 ↓	自分が知っている自分	自分が知らない自分
	他者が知っている自分	他者が知らない自分
	オープン領域	盲点領域
	秘密領域	無意識領域

SGEの展開



エクササイズの「体験」を、シェアリングによって知的洞察することによって、体験が整理され、「経験」となる。「行動の実験室」で重ねた経験は、実際場面で般化され、生きるための「知恵」となる。

構成・型・技

- ◆ 構成(枠)があるから、自由になれる
- ◆ 型の3要素;「誰でもその場で教えられる」「誰が教えても同じようにできる」、「誰がやっても同じ効果がある」
- ◆ SGEは型をもっている。熟練された型は「技」となる

13

エクササイズの体験

- ◆ ネームゲーム(信頼体験)
- ◆ 二者択一(自他理解)
- ◆ いいとこ四面鏡(自己受容)
- ◆ 私のお願い聞いて(自己主張)
- ◆ 伝われ、私のありがとう(感受性促進)
- ◆ トラストフォール(信頼体験)

上記のエクササイズを介して、ふれあいづくり&自己発見(プラス他者発見、人生発見)を促す

14

演習;「私のお願い聞いて」(基本)

- ◆ A お願いする
- ◆ B 理由をつけて、一度断る
- ◆ A 再度お願いする(理由をクリアする代案で)
- ◆ B 了承する
- ◆ A ありがとう、助かった等

15

演習;「私のお願い聞いて」(応用)

- ◆ A お願いする
- ◆ B 一度、二度、理由をつけて断る
- ◆ A 繰り返して、お願いする(複数代案)
- ◆ B 了承する(2分の合図を聞いたら)
- ◆ A ありがとう、助かった等

16

エクササイズとゲームの違い

ねらいを「信頼体験」に置くと重なる
エクササイズは「自己発見」等もねらう

エクササイズ
自己発見等

ゲーム
信頼体験

シェアリングはなぜ大切か

- ◆ 現代は大人も子どもも、自分の感情(気持ち)を見つめる、解放することが不足がち
- ◆ まずは、「快・不快」に焦点を当てて見つめる、解放する
- ◆ 自分の感情を見つめる、解放する、他者の感情に触れ、さらに自分の感情を見つめる、解放する体験がシェアリング
- ◆ シェアリングにより「ふれあい&自己発見」が促される

18

シェアリングの工夫

1. 原型発問：「気付いたこと、感じたことを発表してください」まず、快 - 不快からでも
2. 原型では出にくいとき 目的に沿って気持ちを探ねる；「リフレーミングしてもらい、どんな気持ちでした？」
3. 話すのが苦手な子どもが多い場合、シートに記入させ、シートを交換して読みあう
4. グループサイズは2人 - 4人へ；「二人で話したことを紹介してください」

19

シェアリングでの沈黙

- ◆ 沈黙を恐れなくてよい。沈黙の中にも、個々の心の内では振り返っているもので、それでよい。順番に話をさせる必要もない。大切なのは、短い時間でも自分の気持ちを振り返る時間をもつこと
- ◆ ただし、沈黙だけでは、他者の気づきを分かち合えないため、徐々に沈黙の解消を目指すこと

20

SGE活用上の留意点

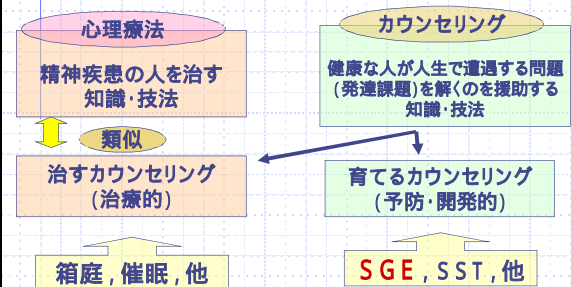
以下の点に留意すれば、誰でもSGEを活用できる

- ◆ 教師自身が体験しておく
- ◆ ショートエクササイズから入る
- ◆ ねらいをおさえる
- ◆ **集団の実態に応じた**エクササイズを選ぶ
- ◆ アレンジを忘れずに
- ◆ 「強制」ではなく、「構成」を

21

SGEの理論的な位置づけ

～心理療法とカウンセリングは別のもの～



友だちの力を借りて、自分のことが好きになる

演習；いいところ四面鏡

1. シートに自分の名前、メンバーの名前を記入する
2. グループ内でシートを回す(交換する)
3. 自分の名前の欄に、その人のいいところだと思う場所に を3個つける。
4. メンバー全員交換し、書き終えたら自分のシートを見る
5. どうしてその項目に をつけたのか、お互いに伝える

シート交換時の「お願いします」のスキルも大切に！

Let's Encounter !

子どもも大人も、全ての人は
人の中でしか人になることはできない

- ◆ ふれあいの場をつくる！
- ◆ ふれあいの場に参加する！

ワークショップへの参加 &
エンカウンターを活用を！

おわりに

- ・我流では学校経営は倒産する(前田)
- ・これまでの学級づくりに安住することなく、
新たな視座に立って実践の更新を(前田)

教育のプロとして、腕の見せどころ
「情熱」だけではどうにもならない
「技」を身につけよう！

「一つだけでは多すぎる」
(外山著、「思考の整理学」より)

25

参考文献

- ◆ エンカウンター、國分康孝、誠信書房
- ◆ エンカウンターで学級が変わる、國分康孝、図書文化
- ◆ グループ体験による学級育成プログラム、河村茂雄、図書文化
- ◆ ワークシートによる教室復帰エクササイズ、河村茂雄、図書文化
- ◆ 厳選！教員が使える5つのカウンセリング、米田薫、ほんの森出版
- ◆ 教師の実践する力を鍛える、前田勝洋、黎明書房
- ◆ 思考の整理学、外山滋比古、ちくま文庫
- ◆ 時々、「オニの心」が出る子どもにアプローチ 学校がするソーシャルスキルトレーニング、曾山和彦、明治図書

26